信濃町の移住の取り組みについて

「NPO 法人ざいごう」が長野県知事と意見交換

移住希望者へ田舎暮らしのサポートする「NPO 法人ざいごう」が3月13日、県庁にて阿部知事と会談を行いました。「ざいごう」は信濃町で田舎暮らしの体験施設を運営し、移住を希望する方へ信濃町の環境の周知、空き家の情報紹介、移住後のサポートなど一貫して移住者への相談や支援を行っています。阿部知事は「ざいごう」が行っている活動を高く評価し、町内だけに関わらず長野県への協力も依頼されました。町も県・民間団体との連携を強化し、スムーズな受け入れ態勢を整え、移住促進を進めていきたいと考えています。

問産業観光課 癒しの森・企業誘致係 ☎(255)5925

信濃町のすばらしい農村環境を将来に残していくために

多面的機能支払で農地を守ろう！

農業者等で構成される活動組織が農地を維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付します。地域の取組みにご活用ください。

■農地維持支払

多面的機能を支える共同活動を支援します。

例：農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の保全活動等

■資源向上支払

農地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動を支援します。

例：水路、農道、ため池の軽微な補修等／農地周りの農業用用排水路、農道などの施設の長寿命化のための活動

問産業観光課 農林畜産係 ☎(255)3113

信濃町役場庁舎耐震補強及び改修工事により

住民が安全・安心に利用できる庁舎に生まれ変わりました

役場庁舎は昭和48年に建設されて以来、約40年にわたり町の中心施設として利用してきました。今回、災害時など防災拠点施設の耐震化を目的に、昨年6月から行われていた役場庁舎耐震補強及び改修工事が住民の皆様のご協力により平成26年3月に無事完了しました。

また、耐震補強工事と併せ1階及び2階のトイレ改修を行いました。耐震補強により、住民の皆様に安心して利用いただける庁舎となりました。

問総務課 財政係☎(255)5920

大雪の災害応援要請により職員2名とロータリー車、ハンドロータリーを派遣

山梨県、富士吉田市へ除雪支援

信濃町は2月20日、山梨県富士吉田市へ除雪支援のために、職員2名、大型除雪機のロータリー車とハンドロータリーを派遣しました。2月14、15日にかけて、本州南岸はかつてない記録的な大雪となり、関東甲信各県で観測史上1位となる降雪を記録しました。富士吉田市では143cmを記録するなど、大雪による住民の生命及び身体に危害が及ぶため、山梨県内21市町村に災害救助法が適用されました。なかでも、道路交通網においては、全域にわたり交通麻痺となり、一時的に市民生活が停止しました。

除雪作業が、大雪でなかなか進まない状況であるため、信濃町は除雪支援を行うことを決定し、20日に現地に入り、21日より23日までの3日間、主な幹線道路を中心に除雪作業を行いました。今回の支援により、富士吉田市長より感謝の言葉や富士吉田市の市民の方からも感謝の電話を頂きました。

新しい農業委員会委員が委嘱されました。任期は平成29年3月31日までの3年間です

新しい農業委員会委員が決定しました

3月18日に告示された「農業委員会一般選挙（定数12名）は、定数通りの立候補者数だったため、立候補者12人全員が3月18日に無投票で当選しました。3月23日に役場で選挙管理委員会の石川委員長から当選証書が手渡されました。

農業委員会は、農地の権利の設置や移転の許可、農地転用の協議、遊休農地の調査など行う機関です。

今回の委員の任期は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間です。

農業委員会一般選挙で選ばれた委員（届出順）

区分	氏名	党派	区分	氏名	地区
新人	大澤　和明	無所属	新人	徳脇　準一	無所属
現職	須藤　照雄	無所属	新人	徳武　清	無所属
新人	石川　清孝	無所属	新人	小林　輝吉	無所属
新人	永原　邦徳	無所属	新人	羽入田　貞夫	無所属
新人	池田　富幸	無所属	新人	羽入田　正信	無所属
新人	櫻井　博一	無所属	新人	外谷　孝司	無所属

町議会及び関係団体から推薦された委員

区分	氏名	区分	氏名
町議会	外谷　延則	町議会	須坂　昭雄
町議会	小林　惠子	土地改良区	原山　美基夫
町議会	宮尾　花子	ながの農協	須之原　信一

問産業観光課 農業委員会
☎(255)6822
問総務課 選挙管理委員会
☎(255)3111